

2027年3月期 第1四半期 決算補足資料

株式会社KYORITSU
2026年7月31日





2027/3月期第1四半期 連結業績概要

KYORITSU

	2026年3月期 第1Q実績	2027年3月期 第1Q実績	前年同期比	2027年3月期 第1Q予想
売上高（百万円）	9,899	10,877	+9.9%	10,592
営業利益（百万円）	220	282	+28.1%	199
営業利益率	2.2%	2.6%	—	1.9%
のれん償却・M&A費 用を除外した 営業利益(百万円)	291	398	+36.8%	309
営業利益率	2.9%	3.7%	—	2.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	491	138	△71.8%	80

◆内製強化継続による収益の改善。

◆2025年10月に北海道エリアの産業廃棄物処理事業会社、(有)丸正北海総業のM&Aによる業績寄与。

◆前期は株式売却による特別利益を計上。

◆2026年4月に北海道エリアのリサイクル事業会社、(株)グリーン・アクティヴをM&A。第2四半期より業績寄与の見込み。
北海道エリアにおける収集からリサイクルまで一環した環境事業推進。



2027/3月期第1四半期 営業利益増減分析

KYORITSU

のれん償却などのM&A関連費用の増加はあるものの引き続き内製強化や新たにM&Aを行った
成長事業の寄与により利益増加

2026/3 1Q 営業利益 220

(単位：百万円)

M&Aによる効果

41

M&Aによる新規グループ会社による寄与

内製強化

48

内製比率増加による折込・発送を除いた外注加工費・
発送費・転送費・修繕費・消耗品・派遣社員費の増減

成長事業の拡大・既存事業の改善

41

環境事業・コンテンツ事業の営業利益増加

19

減価償却費・リース料の減少

資材高騰等への対応力

18

営業面の努力

▲ 44

人件費・労務費・原材料費等の増加

▲ 17

電力費・燃料費等の増加

M & A関連費用等

▲ 44

のれん償却費・M&A費用増加

2027/3 1Q 営業利益 282



2027/3月期第1四半期 財政状態の概況

(単位：百万円)

2026年3月期

2027年3月期 第1Q

41,043

41,043

45,337

45,337

流動資産
18,094

流動負債
13,822

流動資産
21,296

流動負債
14,497

固定資産
22,949

固定負債
9,451

固定資産
24,040

固定負債
13,110

純資産
17,769

純資産
17,729

資産の部

負債の部

資産の部

負債の部

◆金利上昇局面から昨年は上期中に行っていた資金調達を、当期は第1四半期内ですべて行ったことで、一時的ではあるが現預金が増加し、流動資産増加。借入金の増加に伴い流動負債・固定負債も増加。

	2026/3	2027/3 1Q	増減
流動比率	130.9%	146.9%	+16.0 _{ポイント}

◆建物・リース資産等を償却したものの、成長戦略投資に基づくM&Aによる設備・のれんの増加により固定資産増加。

◆リース債務は減少したものの長期借入金が増加したことなどにより固定負債増加。

	2026/3	2027/3 1Q	増減
固定比率	129.1%	135.5%	+6.4 _{ポイント}

◆その他有価証券評価差額金が増加するも、剰余金の配当により利益剰余金が減少したことで、純資産は減少。



会社概要

KYORITSU

社名	株式会社KYORITSU
所在地	東京都板橋区清水町36番1号
事業内容	グループ経営戦略策定・管理並びにそれらに付帯する業務
資本金	33億9,384万円
決算期	3月31日
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：7795）
役員	代表取締役社長 景山豊 専務取締役 田坂優英
URL	https://www.kyoritsu-hd.co.jp/

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。